

令和6年度第1回 庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

- 開催日時：令和6年8月29日（木）13：30～14：50
- 場 所：庄内町役場B棟 2階 会議室1
- 出席委員：阿部正和、齊藤学、菅原貴久磨、大谷明子、菅原みつ子、太田清昭、工藤むつ子、高橋大輔、伊藤寛幸、白畑真由美、阿部金彦、村岡文、安藤将士
- 欠席委員：奥山賢一
- 事務局：齋藤稔保健福祉課長、齋藤佳子課長補佐兼福祉係長、高田課長補佐兼保健師長阿良主査兼高齢者支援係長、丸山主査兼介護保険係長、渋谷健康推進係長

.....

- 1 開会 13：30
- 2 町長あいさつ
- 3 委員自己紹介 委員及び事務局自己紹介
- 4 委員長選出 事務局一任という発言を受け、阿部金彦委員を提案し、承認される  
委員長あいさつ  
職務代理者の指名 規定により委員長より、奥山賢一委員を指名する  
— 諮問 —  
(町長より諮問書の手交)  
(町長退席)
- 5 説明  
保健医療福祉推進委員会について（課長補佐兼福祉係長：資料1により説明）
- 6 報告

【保健福祉課長】 6の報告、7の協議につきましては、委員会条例の規定により、阿部委員長より進行をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

【委員長】 それでは6報告の庄内町高齢者保健福祉・第8期介護保険事業計画の進捗状況について説明をお願いします。

(主査兼介護保険係長：資料2-1、2-3により説明)

(主査兼高齢者支援係長：資料2-2により説明)

【委員長】 事前に資料はいただいておりますが、何か皆さんの方から質問やご意見があればお願いいたします。なければ、まず私の方。1点目、介護保険に係る現状分析で、庄内町の費用の額が県内でも高いが、この要因について説明してもらえますか。

【主査兼介護保険係長】 全体的に介護サービスを受けやすい状況にあるということが庄内町の介護費用額が県内上位である理由だとこちらとしては認識しています。在宅サービスという形で、自宅で受けるサービスについては大きい市に比べては、充実していない部分があると思いますが、県指定のサービスであれば酒田や鶴岡のサービスも受けることができますし、施設につきましては、大きい施設が庄内町、近隣にもございますので、かなり選ぶことができます。また、有料や

サービス付きの住宅に関しても、訪問看護や通所サービスを受けるにサービスを選びやすい、様々なサービスが使いやすい環境にあるのではとっております。

**【委員長】** 地理的に環境的に介護サービスが受けやすい。町内にも、近隣にもあって、アクセスも良く、高いということですね。もう1点ですが、評価シートの評価方法はどうなっていますか。例えば、それぞれ国や県の基準はあるのか、事務局の判断なのか、何か基準があるのでしょうか。

**【主査兼介護保険係長】** 評価の指標に関しては、8期の計画に目標を定めております。目標に関してどれくらい取り組んでいるか、どこまで進んでいるか、評価しておりますが、評価は介護と高齢者支援係で事業の内容に関して評価しているところです。回数等については定量的に評価・判断できるのですが、そういうものがない定性的な目標についてはこちらの協議ということになっております。

**【委員長】** 一部数値的な目標に対しては数字が入ってるのでわかりやすいが、評価が非常に良く、少し課題が見えてこない。何か他にご質問はありますか。よろしいでしょうか。それでは報告については以上で終わりたいと思います。後で発言いただいてもかまいませんので、7の協議に移ります。

## 7 協議

**【委員長】** (1) 健康しょうない21計画(第4次)について説明よろしく申し上げます。  
(課長補佐兼保健師長資料 No3、3-1 により説明)

**【委員長】** それでは、皆さんそれぞれの分野のことに自由に発言していただければと思います。

**【委員】** ものによって評価の仕方がABCや、○×などバラバラなのは何か理由があるのでしょうか。

**【課長補佐兼保健師長】** 計画によってということでしょうか。

**【委員】** はい。

**【委員長】** 健康しょうないだけではなく、ほかの計画も含めて評価の方法がバラバラですが、国か何か指標があるのでしょうか。

**【課長補佐兼福祉係長】** 国の上位法に基づいて、根拠があって行っているものもありますが、おっしゃるとおり、課の中でも統一がはかられていないという現状でございます。できるだけ数値に基づいて、数字の目標を立てて、それに実績を合わせて評価をするという方向に、文言で「やりました」という評価ではない形に整備していきましようとはしています。

**【委員】** P29の身体活動、運動について、運動不足を感じている割合は数値があがれば評価が上がる?

**【課長補佐兼保健師長】** こちらの項目については数値が下がれば評価があがります。

**【委員長】** 下がれば評価があがる?

**【課長補佐兼保健師長】** はい。運動不足を感じている人が少なくなれば良いので。

**【委員長】** その下の項目は?D?

【課長補佐兼保健師長】 運動など身体を動かす機会がある人の割合は数値が上がれば評価はよくなりますが、アンケートの際、策定時と質問が少し変わってしまったので、評価できない（つまりD）という評価をしております。

【委員】 ありがとうございます。

【委員】 昨日、県の医師会と話があって、話題がバラバラになってしまいましたが、自殺が少なくなったということが話題に上がりまして、医師会としてはすごい喜びで、原因は最上町がものすごく自殺数多くて、県でダントツでしたが、それがガクッと下がったので県全体で自殺率が下がった。最上町の自殺が多かった原因としては貧困による自殺が多かったのも、それが少し改善されて、県全体の自殺率が下がったのではないかというのが昨日の医師会での話でした。あと、自分はYBCラジオのドクターアドバイスにも出ていて、その時のテーマは健康寿命と普通の寿命と、あとは県の違い、青森県と沖縄県と長野県。三県よれば長寿の知恵。青森は死因がんが10何年間1位。たばこを吸う事、肥満が多いこと、しょっぱいものを愛している、健診は受けない、庄内だとしょっぱるといいますが、頑固にかたくなに、みそ汁はしょっぱくないとダメだ。タバコはやめない。女の人も。大学が色々頑張っているけどなかなか言うことを聞かない。沖縄は長寿を自慢していましたが、今は男性は40位に下がった。山形県の男性は16位なのに。東北は低い。でも山形は女性がすごく悪くなった。その原因は僕の評価では、塩分摂取量が女性は全国4位だから。塩分が女性の寿命を縮めた。沖縄は糖尿病、メタボが増えた。地下鉄など公共機関がないから、とにかく歩かない。あとはしょっぱいものが好き。昔はゴーヤチャンプルーとか野菜食べていたけど、今はもう野菜を食べない。肉、スパム、バーベキュー。東京もだけど。簡単に食べられる脂っこいものが大好きだから、それが原因かと。長野県はすごく真面目。昔は（戦後）最下位、野沢菜。食べ物の改善を指導する人がいっぱいいて、一軒、一軒みそ汁の塩分をはかった。野菜をたくさん食べるようにした。あとは老人は老人クラブ。男女ともに1位。戦後は最下位だったのに。すごく努力した。持論では、長野と山形は同じ、食べ物はおいしいし、環境も似ている。だから庄内町も同じことができると思っている。山形県はがん検診、メタボ健診受診率全国1位、全国から色々な大学が来る、すごいですね、って。でも寿命が延びない。なぜかという塩分の取りすぎ。みそ汁、しょうゆもとりすぎ。塩分の摂り過ぎが原因で脳卒中とか心筋梗塞、いわゆる成人病につながる。検診は真面目だから受ける。食生活、ラーメン、一杯食べたら塩分7グラム。納豆、煮つけも食べたら10グラム超える。長野県は年寄りが色々な行事に参加。今、長寿は佐賀県で、良いところは老人クラブの集まりが活発。うちで黙っているだけじゃなくて、老人がサークルなんかで集まって活発に動いているところは長寿。山形県は真面目だし、似ているから真似できると思う。役に立つことあったら声かけてください。

【課長補佐兼保健師長】 ありがとうございます。

【委員】 フレイルを認知している人の割合が高くない。それで、100歳体操があった時に、フレイルを組み合わせた活動がとても私は感動したので、何かの会を利用して、フレイルを同時に進めていく方法が効果があると思いますが、いかがお考えでしょうか。

【課長補佐兼保健師長】 まだまだフレイルという言葉の認知は低いので、色んな事業の機会を通して、言葉を出して、意識してもらおう、という取り組みは良いと思いますので、検討していきたいと思います。

【委員】 もう1つゲートキーパー数を増やす養成講座の人数目標は増やすのですか？

【課長補佐兼保健師長】 継続していきたいです。

【委員】 若い世代が関心をもつよう養成講座を増やしていただけると良い。

【課長補佐兼保健師長】 ご意見ありがとうございます。

【委員長】 他にありませんか。

【委員】 私たち食改でもフレイルの予防をやっていますが、少し足りないと思っておりますので、積極的に行ってきたいです。

【課長補佐兼保健師長】 ありがとうございます。

【委員長】 その他いらっしゃいませんか。

【委員】 この計画期間の中に新型コロナウイルス感染症の拡大があったと思いますが、アンケート結果の中で、影響があった項目があればご教授いただきたいです。

【課長補佐兼保健師長】 コロナと思われる数値はありました。評価に入れるか入れないかの迷いがあったのですが、再度検討して、見直し、精査して、入れ込めるところは入れ込みたいと思いますがどうでしょうか。

【委員】 ありがとうございます。次期の計画を策定するうえで、今回の数値を参考にしながら、目標を設定していくと思いますので、コロナの影響をどう見るか、行政としてどういう取り組みを行ってきたかを視野に入れながら次期計画に向けての、目標値、項目ですとか、検討していただけるといいのかなと思っております。

【課長補佐兼保健師長】 ありがとうございます。再度、検討していきたいと思います。

【委員長】 その他いらっしゃいませんか。それぞれの分野で日頃思っていること、何かお話ししたいことあればお願いします。

【委員】 歯科衛生士の立場から、歯と口腔の健康の結果のところ、これはあまり良くないと思ったのが、3歳児のむし歯のない割合が9割で、日本全体としてもむし歯のない子どもが増えているので大変良いと思いますが、40歳以上の定期的な歯科検診受診率が半数以下、これかなり問題だと個人的に思いました。先ほどフレイルの話も出ましたが、人って生きる限り食べる、食べるだけじゃなく笑うとか、生活する上で口腔の健康は重要だと思っていますし、口腔の細菌が全身疾患を起こすというのもだいぶ前から言われていますから、口腔ケアを100%やっても歯周病菌は取りきれない。定期的な歯医者受診で口腔ケアしてもらおう、プラスお家での口腔ケアが口腔の健康につながると言われているので、

結果が半数以下というところは、かなりの課題ですし、これが最終的に全身疾患につながったり、医療費がどんどん増えてしまう事にもなるので、なんとか改善していかなければならないと感じました。以上です。

**【課長補佐兼保健師長】** 貴重なご意見ありがとうございます。目標達成していないのもっとも意識していかなければいけないと思っています。今年度から 20 歳、30 歳も歯周病健診の対象となっております。受診率をあげる取組みも強化していきたいと思っています。ありがとうございます。

**【委員】** 村岡さんの話を踏まえまして、会社いくつかあるうちの社員の方々、例えば建設業であったり、運送業であったり、製造業である会社の社員の方々の歯がボロボロ。60 代、50 代、40 代の方、コロナがひと段落して、マスクをとってもいい状況であるにもかかわらず、そういった方々は取りずらい状況があると見ていて、町だけではなく、企業側も福利厚生のひとつとして、口腔ケアをする必要があるとわたくしは強く思っていますので、ご教授いただければ、民間も一体となって、福利厚生の一つとして深めていくこともできると思いますので、一緒に良い地域づくりができればと思いました。あともう 1 点、P16 の睡眠の部分ですが、鬱とか自殺予防から睡眠の質が大切だと思っていて、小学生 6 年生、中学 3 年生のアンケートのグラフを見ると、2 割か 1 割程度の子たちが睡眠があまりとれていないということがあり、この原因は何でしょうか。

**【委員】** スマホでしょ。

**【課長補佐兼保健師長】** そうですね。学校保健委員会などで話題となるのが、メディア、スマホや、ゲーム、そういうことが話題になります。

**【委員】** 勉強や宿題ではなく？

**【課長補佐兼保健師長】** 中学 3 年生になると受験前ということで勉強が入ってくるかと思っています。

**【委員】** 昨日の医師会でもスマホとか話題になり、小児科の先生が、スマホ 1 時間以内に終わる子どもと 1 時間以上やる子どもは学力が全然違う、あと夜 10 時前に寝る子どもは、これは九州の方ですが、付属病院の先生が、10 時前に寝る子どもは全部 50 番以内になる、10 時以降に寝る子どもは 50 番以内に入れない。

**【委員】** 昨今の谷選手のお話など聞くと睡眠の質を高めるということに思うことがあり、うちの会社の運転手さんたち昼休憩でダンプの後ろの荷台のところで休憩してくださりますが、その睡眠の質をどう高めていくかも、企業側として解決して、より良い睡眠の質を提供することが重要だと思っていましたので、ご教授いただければ。

**【課長補佐兼保健師長】** ありがとうございます。

**【委員長】** その他ありますか。

**【委員】** 老人クラブです。老人クラブの方は元気がいいと、先ほど阿部委員からありました。庄内町の一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦の世帯が増えてきておりますけれども、そのわりにクラブ数が少なくなってきました。高齢者も生活の

中で付き合いが少なくなり、孤立しやすくなっており、老人クラブに勧誘してもなかなか入ってくれる方が少ないです。デイサービスに通っているのですとか、杖使わねば歩けないとか、車いすだから参加できませんとかいう方がいて、寂しい限りです。私たち老人クラブは、活動をよりどころにして明るく、健康で、こころ豊かに日々生活を通じていきたいと思っています。健康増進につながるグラウンドゴルフ、軽体操など地域の支え合い、友愛活動、見守り、声かけ、情報伝達支援など活動を通して仲良く、支え合い、元気溢れる老人クラブを目指して前に進んでいます。ですが、年々クラブ数が少なくなっていますので、具体的な施策、積極的に考えなければいけないと思っています。これが、今の老人クラブの現状、状況でございます。

【課長補佐兼保健師長】 ありがとうございます。

【委員長】 老人クラブでグラウンドゴルフしている人も昔は3倍以上いた。どんどん少なくなってきた。サポートとかなんかやっていかないとどんどん減っていく。会員も少なくなっていく。

【委員】 老人クラブ数も去年は14クラブあったのですが、今は8クラブしかございません。ちょっとそれがさみしいですね。

【委員長】 私から2点ほど、集落公民館で喫煙をまだしているところ、それは何か調査とか指導はしているのですか。

【課長補佐兼保健師長】 集落公民館の喫煙状況というのは去年調査しております。対策をとっている集落は増えています。でもやっぱり吸う方がいるので、強く言えない集落もあり、吸う人が自主的に外で吸ってくれている状況があるから、対策はあえてとっていない、ということもあり、意識的なものは受動喫煙防止に向いているとは思っています。ちなみに受動喫煙をどこで受けますかという質問に対して女性は家庭、男性は職場が一番多かったです。

【委員長】 もう1点、いきいきサロンはとても好評だが、同じ集落の会員だけではだめとか、ハードルが高い。国に合わせなくてもいい？庄内町だけでは何かサポートできないのか？

【主査兼高齢者支援係長】 いきいきサロン、通いの場というのはどうしても集落の公民館で事故があった場合などの保険の対象の問題で、なかなか同じ集落以外の人を受け入れできないという状況のようです。健サロンについては広域的な通いの場として、町の方から補助金も交付して、活動してもらっている。そういう違いがありまして、集落とか公民館でやっているところには特別町の補助も出ていません。広域的な通いの場として進めていくのが望ましいですが、そうになると代表となる方の負担が大きいとか、いろいろな声がありまして、私たちが歩いて通える近い場所に通いの場を設けたいとか気持ちもあったり、いろんな条件とか引き受けてくださる側の思いとかも全体的に考えながら、進めては行かなければならないと思っていますところなんです。

【委員長】 ほかの地域からも受け入れないと、サロンとして認めないし、支援もできませ

んではなくて、集落単位でも活動できるように、町として単独支援は考えられないのか。

**【主査兼高齢者支援係長】** そちらについては検討していきたいと思っております、今年度については例えば100歳体操するにも椅子やDVDを再生する機械がないなど備品がないという意見を聞いており、酒田市の補助金の交付のやり方とかいろいろ勉強しているところです。どうにかして支援をして、そういう活動の場が増えればいいなと考えています。もう少し研究していきます。

**【委員長】** 何か、他にみなさんからございますか。なければ予定の時間となりましたので、さまざまなご意見をいただきましてありがとうございました。協議は終わりますので、進行をお返しします。

8 その他

次回開催 令和6年11月26日(火) 13:30~15:00

9 閉会

(14:58 終了)